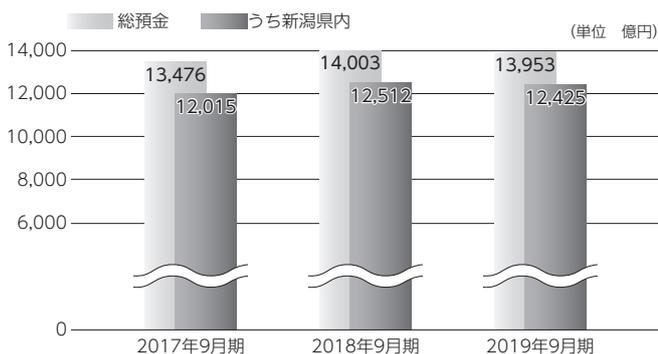


2019年度中間決算ダイジェスト (単体)

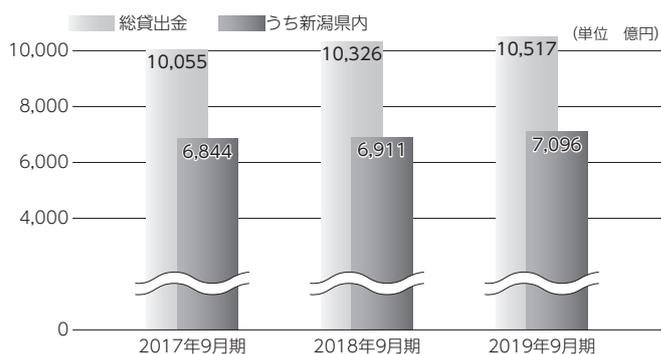
■ 預金残高



預金等残高(含む譲渡性預金)は、法人預金は増加したものの、公金預金の減少などにより前年同期比50億円減少の1兆3,953億円となりました。

新潟県内預金等残高は1兆2,425億円、県内預金比率89%です。

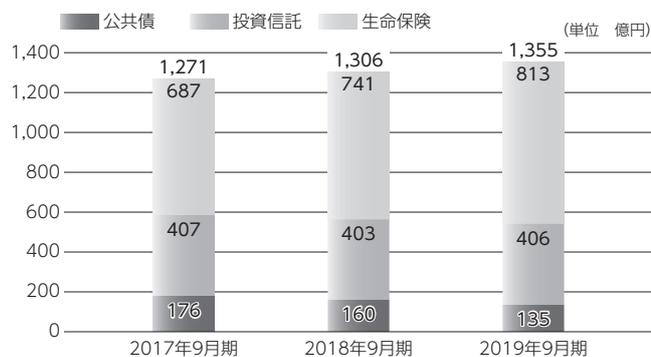
■ 貸出金残高



貸出金残高は、住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加し、前年同期比191億円増加の1兆517億円となりました。

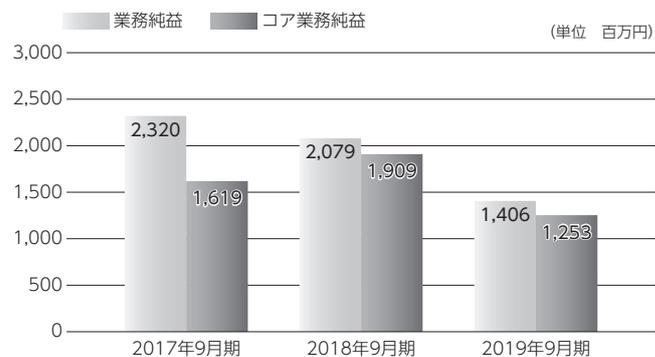
新潟県内貸出金残高は7,096億円、県内貸出金比率67%です。

■ 預り資産残高



預り資産残高は、マーケット環境により公共債は減少したものの、生命保険と投資信託が増加したことにより、前年同期比49億円増加の1,355億円となりました。

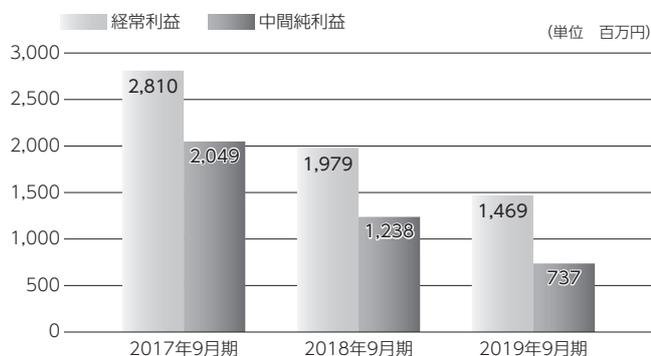
■ 業務純益・コア業務純益



業務純益は、前年同期比6億73百万円減少の14億6百万円となりました。

コア業務純益は、資金利益や役員取引等利益が減少したほか、経費が増加したことなどにより前年同期比6億56百万円減少の12億53百万円となりました。

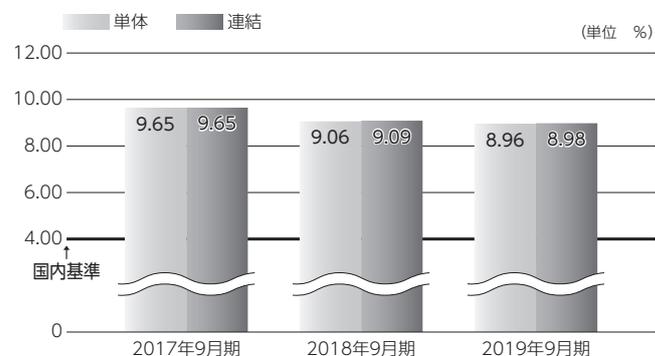
■ 経常利益・中間純利益



経常利益は、有価証券関係損益は増加したものの、コア業務純益の減少などにより、前年同期比5億10百万円減少の14億69百万円となりました。

中間純利益は、前年同期比5億1百万円減少の7億37百万円となりました。

■ 自己資本比率



自己資本比率は、単体が8.96%、連結が8.98%といずれも規制値の4%を大きく上回る水準であり、引き続き高い健全性を維持しております。